

報 告 書

(三浦班)

開 催 日 時	令和元年 10 月 7 日 (月) 午後 7 時～8 時 30 分	
開 催 場 所	久佐公民館	
出 席 議 員	佐々木 豊治、上野 茂、小川 稔宏、川上 幾雄、 三浦 大紀、(議長) 川神 裕司	
	司会者	三浦 大紀
	ファシリテーター	佐々木 豊治、上野 茂、 小川 稔宏、川上 幾雄
	記録者	佐々木 豊治、上野 茂、 小川 稔宏、川上 幾雄
参 加 人 数	24 人	
主 な 要 望 ・ 提 言 等	【健康・福祉・教育】 ・ 保育料無償化で食費も全てと思っている方が多い ・ 地元へUターンしたが、賃金の格差がある。田舎は好きだが今のままだと両親のこともあり先々心配だ。 ・ 93歳の母がいる、今は手がかからない、自分も勤めている。 ・ 家族を施設に預けているが年金だけではやっていけない家族の負担がきつい。 ・ 要介護が重くなりどこへ入所すか不安がある。受け入れができない。在宅介護1人が1人をみる。 ・ 自分たちのことは自分たちで守ろう。若い人たちにもっと興味を持ってもらいたい。 ・ 独居老人が浜田市に3,000世帯。2人世帯はいいが1人世帯のモデル事業として空き家を活用した生活も有効。 ・ 支援、行政・民生委員・全国のモデルを参考に。 ・ 介護保険原資が少なくなっていると聞く。目いっぱい使わせるのはおかしい。 ・ 利用する側の意識が大切。 ・ 我が家で安らかにが理想。	

主な要望・提言等	・地域の主治医の後継者が不足。最終的に頼るのが医療センターだが紹介状がないと金が要るのはどうか。 ・制度ができて30数年きちんと順序だてをしてこなかった。世代がつながっていない。そのことをしてこなかった。 ・保育料の無償化は一人歩きして、食費も無料と思っている人が多い ・合併当時1,000人の出生が今は370人程度、学校も減っている。 ・もう一度原点に返り、誰が親を見るか、子どもの面倒は見るが親は市の税金で見てくれは、おかしい。 ・集いの場（高齢者クラブ）への参加意識が薄い。 ・低所得高齢者の住まい生活支援の取り組みに力を入れてほしい。 ・（地元の）デイサービスが閉鎖される。今後老人が増加することにどう対応するのか心配。 ・一人暮らしで今は健康だが、先々食事などが心配 【安全・安心】 ・独居老人の方が近くの空き家に住めないか。 ・低所得者高齢者住まい生活支援モデル事業の活用（平成26年から）。 ・独居は寂しいので息子のところへ行くことになった。地域で年に一人はそういった人がいる。 ・買い物が一番大変。草刈りをどうするか。近所が刈っている。浜田へ出る便がない。 ・人が出ていくのでンと一軒家になる。地域で面倒もなかなか見れない。孤立感がある。 ・救急車が入れない。 ・夜も歩けない。 ・地域活動の維持が困難。
-----------------	--

主な要望・提言等	・どれくらいの空き家があるか。特別養護老人ホームで研修を受け入れている。空き家の現状はどうか。利活用はどうか。空き家バンクの登録数をどう増やすか。校舎を利用して集団活動ができないか、高齢者同士が面倒を見合う。 ・台風は予測できる災害。まず避難。これは金がかからない。建物もいない。亡くなる人が減る ・人口減少に対して全国で競争している。地元民は税金を払っているのに何もなし。外から連れてくることよりも、今浜田にいる人を大切にしてほしい ・この地域の食文化は、どこにも負けない。子育て、待機児童はいない。 ・社会教育が大切。人の意識を育てる。協働、できることをできるものでできるだけやろう。有償で。無償はダメ。みんなでやる仕掛け、根拠はお金、制度をうまく使う。
	【産業】 ・若い人の雇用の場の確保、収入が増える職場、若者が留まれる職場条件を。 ・浜田市は製造業が少ない、育たない。地理的条件が悪い？（広島との交流が可能だが地代が高い） ・地域に適した製品の考案を。ヘーゼルナッツの栽培などは有効では⇒商品化…仕事の増加（雇用の確保）。 ・大規模農地化はメリットがあるのか。費用の無駄づかいでは？中山間地の階段的圃場の大規模化は無理がある。小規模団地の利用法を検討すべき。大規模化は一部の人達、他の法人化できない人達への助成を。 ・後継者不足。今は良いが5～10年後は放棄し山に帰す。今は農業（米作）ができるが後継者がいない。その中で猪被害や安い米価。農地を放棄、そして無料で他者へ譲渡する。

主な要望・提言等	・耕作地放棄、農業政策の改変が必要。（直接支払制度・農地水の拡大、法人化で米作の不効率を改良） ・農業法人が高齢化で運営が困難になっていく。地元法人への若者補填策が今後必要。役員中心の活動でなく組合員も参加を求めるが、高齢化が足を引っ張っている。団塊の世代が高齢化し、今後人材が少なくなる。 ・畦畔の除草軽減で除草剤を使えば軟弱化し崩れる。米国からの米逆輸入は困る。 ・農業支援センターが機能していないのではないか ・当初の現場主義が形骸化し、認定農業者への支援に要する知識が不足している。現場を見てほしい。 ・伐期の森林を有効に利用すべき。 ・林山林の荒廃が問題。費用が安いことが業者不足へ、もうかる林業を検討してほしい。 ・背戸（家屋の周辺）の伐採が、鳥獣被害の低減化へつながるのではないか。 ・山の再生（広葉樹林の再生⇒50年再生）には時間がかかる。 ・樹木のエネルギーへの活用、CO₂（二酸化炭素）の低減化を。 ・世代を継ぐ施設の利用と農業政策を。 ・鳥獣防止柵へ手厚い支援を。
	【地域】 ・地域存続のための行事（地域の自然を利用）などは子どもを中心に据えた行事に。親、PTA、地域 PTCA化が推進力。祭、盆おどり、蛍、焼肉等々。 ・行事に子どもの役割ができる。若い人たちのデビューの場でもある。 ・地域の維持に地域交通は必要。バスに人が乗ってなくて無駄。 ・停留所まで遠く連絡も悪い。タクシー利用も検討。

主な要望・提言等	・ 地域振興の中で、特に農業振興が地域では欠かせないテーマだが予算が減っている。 ・ 全国で減少している人口の取り合いになっている。10～15年後集落の消滅。若者がいない。子どもも外で遊ばなくなっている。 ・ 各地区も大切だが、浜田市全体で日本中から客が来るような祭などのイベントで人口増の政策につなげることができないか。 ・ 人口増のためには現在の市民への福祉向上が大切。 ・ 高齢者クラブの衰退を危惧。支える組織として加入してもらいたい。 ・ 公民館のあり方、地域組織を整理、集約一本化できないか（究極はまちづくり、地域の存続）。 ・ コミュニティセンターはどうなるのか。地元説明が不十分。「やるんだ」というのが先行して目指す姿が見えない。住民の目線に立っていない。事務局任せでできるのか。どんな組織が考えられているのか？ ・ 金城が好きで10何年ぶりにUターンしたが、顔が分からない。様々な格差を感じる。隣が何をしているのかが分からなくなってきた。3年ぶりの運動会で子供の声が聞こえるのが良い。若い人を地域に呼び出す方法を考えてほしい。 ・ 地域存続のための行事を伝える。三世代のつながり集いの場。三世代コミュニケーションを図る必要がある。高齢者の知恵を若い人に教える。地域の食文化を伝えること。郷土料理の継承をしっかりとつなぐことが重要。食べ物にはいわれ、物語がある。地域の存続には昔からの行事を今の子どもたち、若い世代につなぐ必要がある ・ 日常の交通の確保はどうしていくのか？集落への乗合タクシーがあっても停留所まで遠く、そこまでの移動手段がない事から閉じこもりや認知症になりやすい
-----------------	--

主な要望・提言等	・コミュニティセンター化で公民館がどうなるのか周知不足。行事の存続で活性化を。食生活の改善にカフェ等がコミュニケーションに必要。 ・歴史的建造物の保存が大切。
	【その他】 その他の質問と回答の要約 ・予算審議はきちんとされているのか？ →委員会できちんと審議している ・農業・消防の予算が減っているがどうなっているのか？ →様々に取り組みを行っている。これからも確保に努める。 ・歴史資料館について、参加議員はどのように考えているのか？ →これから執行部案がでてくる。具体的な議論はこれから。

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

令和元年 10 月 18 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

三 浦 班

代表者 三浦大紀